

令和4年度 関町北小学校 学校経営構想骨子

【組織の斉一性の確立】

- ・ 当たり前のことを当たり前のこととして全職員でやる、全教室でやる
- ・ 大人が模範となる挨拶の推進、校長が学校の模範として最大努力

【学力の向上】（基礎基本と活用、楽しく学ぶ雰囲気醸成）

- ・ 学習指導要領の趣旨「学びに向かう力（メタ認知）」を理解し適切な評価をベースとしたカリキュラムを個々がマネジメントする（授業観察、授業交流・年間通して）
- ・ 学カグランプリの開催（教員の自作問題による）

【体力の向上】

- ・ 低学年の受動握力向上のための固定遊具の取り組み
- ・ 個々の能力に応じた夏季水泳指導（25歳を目指す児童対象の枠の充実）

【特別支援教育の推進】

- ・ 「才能開発」の視点に基づく全ての児童の特性に寄り添う支援体制の確立
- ・ 授業や環境のユニバーサルデザイン化
- ・ 言語障害学級教員による通常の学級へのコンサルテーション
- ・ スター（才能開発ルーム）の円滑な運営（入級児童20名目標・1時間目の指導開始）
- ・ 大学との連携によるティーチングアシスタント（TA）の効果的な活用
- ・ パスポート制度の確立、ラーニングブースの開発、クーリングダウン機能の整備・活用

【豊かな人間関係の醸成】

- ・ 人権感覚に満ち溢れた職員室の言語環境の整備（敬称、建設的会話、才能開発の視点）
- ・ 関北小で絶対に使ってはならない言葉「うざい、きもい、死ね」の根絶
- ・ いじめ防止対策の組織的な対応（予防の視点を盛り込んだ調査、いじめ調査結果の発信）
- ・ 「ホームサポートカルテ（児童虐待の早期発見と適切な対応のためのカルテ）」の作成による情報共有

【保護者・地域との連携、保護者・地域への発信】

- ・ 60周年の成果を土台とした全職員の一体感、地域行事への参画意識の醸成
- ・ おやじの会のさらなる充実（運動会支援、段ボールハウス宿泊）の拡大
- ・ 学級・専科通信の発行（月1回以上を目安）

【道徳、特別活動】

- ・ 話し合い活動（年間11回程度）をベースとした自主・自立性の育成
- ・ 教科横断的、メタ認知の視点で道徳教育において人格を高める意識の醸成

【組織・危機・環境管理、サービス・働き方改革】

- ・ 第三者機関である「いじめ防止対策サポートチーム」の結成
- ・ 個人情報保護ファイルによる書類の保護、管理
- ・ 「ちょこっと改善表」による全員一改善
- ・ 学校給食アレルギー対応の組織化、精密化（保護者との綿密な除去計画、ケース訓練、実地的研修）
- ・ 職員室のゴミ箱の一元化と適正な分別・リサイクル行動、節電の遵守、ゴミの持ち帰り
- ・ 接遇・電話対応研修による公務員資質の向上
- ・ 区学校職員サービス規定に基づくサービス遵守の徹底
- ・ 「ハインリッヒの法則」に基づく学校事故、サービス事故の根絶 ・ 自転車に伴う飲酒運転の根絶
- ・ 特別支援教育の資質向上（問題行動は改善の機会）による体罰、不適切な指導の根絶
- ・ 机上の「フラット・グリーン化」
- ・ 変形労働時間制度の周知、在校時間入力表による時間外勤務管理（月45・年360時間以内）の見える化
- ・ 会議の抜本的な精選、C4t hによる業務（徴収金システム定着）の効率化
- ・ 校長による「イクボス宣言」と趣旨の共通理解

「イクボス宣言」

- 1 私は、職員のどんな相談にも応じます。
- 1 私は、職員は家族。職員の家族も家族。大家族主義を貫きます。
- 1 子供は世界の宝物です。私は育児をしながら仕事をする職員を応援します。
- 1 私は職員のお子さんや家族が体調をくずされた時は、早めに帰るよう勧め、支援します。
- 1 私は、土日、定時以降には、仕事の依頼をしません。（できるだけ）
- 1 私は、無駄に残らず、率先して早く帰ります。
- 1 私は、休暇の取得を率先して出来る職務環境にしていくよう努力するとともに、働き方の意識改革を求めます。特に、育児で忙しい職員が気を遣わず休暇を取れる雰囲気をつくります。
- 1 私は、病気でなければ休暇が取りにくい雰囲気を変えるよう努力します。
- 1 私は、仕事を効率的に終わらせ早く帰る部下を評価します。